

AML Tokenレーティング：総合評価★★★

(最高評価は★★★★★、最低評価は★)

(レーティング・サマリー)

- ・マネーロンダリングの問題を解決する仮想通貨として2017年10月1日よりICOを開始したAML Tokenであるが、仮想通貨取引所での上場予定が示されておらず流動性について高い懸念がある。
- ・ホワイトペーパーの記載が難解であり、外部投資家から資本が投入される計画などは示されておらず、収益計画やロードマップも記載されていないことからビジネスの拡大に疑問がある。
- ・政官財から経験豊富な経営陣が集められているが、低コストでの国際送金ニーズにAML Tokenがどこまで対応できるかは未知数であり、総合評価は★★★である。

(個別項目)

ビジネス・収益モデル：★★

経営陣：★★★★★

ホワイトペーパー：★★

投資家・流動性：★

※総合評価は個別項目のレーティングを合計し、4で割った数値（小数点以下は四捨五入）。

個別項目詳細

ビジネス・収益モデル：★★

- ・AML Tokenは国際送金の分野において、低い手数料でマネーロンダリングの懸念がない取引を拡大するとしている。
- ・マネーロンダリングを気にする必要がない利用者は、流動性の高いビットコインやイーサリアム、リップルなどの主要仮想通貨で送金する可能性が高く、AML Tokenのビジネス拡大には疑問の余地がある。
- ・低い手数料で決済サービスを提供する予定であるため、収益性を高めるため多くの顧客を世界中で集める必要があるが、AML Tokenのウェブサイトは英語にしか対応しておらず、英語圏以外での顧客獲得は困難であることが予想される。

経営陣：★★★★★

- ・NAC FoundationのCEOであるMarcus Andrade氏は、ビットコイン開発が始まった2009年からブロックチェーンや仮想通貨に携わっているベテランであり、元海兵隊員というキャリアを持つ。2015年9月にNAC Foundationを立ち上げ、米国銀行協会のメンバーになっている。
- ・イギリスの元政治家、元駐米パナマ大使を副社長に擁し、アドバイザー陣も経験豊富なシニアメンバーが揃っている。
- ・ビジネスだけでなく、法律や政治の分野で活躍してきた人たちがアドバイザーになっており、各国政府の動きを意識しながらの人選になっており、経営陣はしっかりと固められている。

ホワイトペーパー：★★

- ・ホワイトペーパーに規制当局との関係やブロックチェーン技術の詳細が記載されているが、ICO後のビジネス展開予定やロードマップ、収益計画などの記載がなく、事業の拡大に懸念がある。
- ・マネーロンダリングやブロックチェーン技術に詳しい人でなければホワイトペーパーを読み進めるのが困難であり、投資家にAML Tokenのビジネスを理解してもらう上で難解な表現が多い。

投資家・流動性：★

- ・ウェブサイトやホワイトペーパーの中で、将来AML Tokenを仮想通貨取引所で法定通貨や主要仮想通貨に換金、交換が可能になる予定があるかどうかの記載がなく、流動性に関して大きな懸念が存在する。
- ・AML Tokenに対してまとまった投資が行われる予定はウェブサイトなどに掲載されていない。